

1 業務実績の概要

①主な実績

ページ	内容
◆ 教育に関する目標を達成するための取組	
7	オープンキャンパスについて、来場者確保のため高校1年生にも一部時間の参加を認めるなどし、来場者が増加した。（2日間で2,090名。昨年度から370人増） 入学志願者数は、2,208名となり、目標（2,000名）を達成した。
9	大学院研究科3科合同で、学内の就職セミナーに参加し、大学院での学びや進学後のメリット等について、説明会を実施した。
10	データサイエンス教育の推進として、「データサイエンス演習」（2年次必修）の内容について、難易度の再検討及び授業内容の改善に着手した。
11	第39回管理栄養士国家試験合格率91.2%（全国平均80.1%）となり、目標（90%）を達成した。
11	学生の成績情報やPROGテストの結果等を一括して表示するダッシュボードを作成し、教育の質の向上に資する教育DXを推進している。
11	地域リーダーを育成する大学独自の「もやいすと育成プログラム」や地域企業・地域社会から研究テーマを募集し、学生が研究する「地域連携型学生研究」等を活用した地域の諸課題を題材とした教育研究を着実に推進している。 （R6年度取組例） ・ 県内市町村でのフィールドワーク、地元の方々への成果発表会、 ・ 能登半島地震被災地（石川県）でのボランティア及び実践的フィールドワーク調査 等
13	白亜祭（学園祭）におけるJASM社員の招待や留学生による母国文化の紹介などを通じた異文化理解・多文化共生を推進している。
15	総合管理学部において専攻制（公共・ビジネス・情報）を導入し、学生の専門性を高める新たなカリキュラムに基づく教育を開始した。
15	文学部英語英米文学科における新カリキュラム・学部名称変更（グローバル・スタディーズ学科）等について、学内で決定した。

①主な実績（続き）

ページ	内容
◆ 研究に関する目標を達成するための取組	
17	「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点における研究を着実に推進している。 (R6年度取組例) ・新たに東京都杉並区、大阪府と連携協定を締結 ・雨庭などのグリーンインフラ導入による水循環保全を推進する「熊本ウォーターポジティブアクション」の始動 等
18	知的財産の管理体制の構築に着手した。
◆地域貢献に関する目標を達成するための取組	
19	令和2年7月豪雨からの復興支援を目的として、球磨川流域圏の文化・歴史・環境をテーマにした無料のオンライン公開講座（球磨川流域バーチャルキャンパス）を開催し、人吉高校1年生229名を含む計403名が受講した。
◆ 国際交流に関する目標を達成するための取組	
21	国際交流の推進として、新たに開南大学（台湾）と学生交流協定を締結した。
22	T S M Cと地下水資源保全に向けた共同研究推進に係る覚書（MOU）を締結。T S M C・J A S M・熊本県立大学が共同で地下水資源の保全に向けた調査研究を行うプロジェクト「Green Joint Development Project」が始動した。
22	国連環境計画（U N E P）から「水銀モニタリングデータの収集及び水銀研究に関する国際協力」事業を受託した。
◆ 財務内容に関する目標を達成するための取組	
28	外部資金獲得を総額246,745千円獲得し、順調に目標を達成するための取組を行っている。（参考：令和5年度実績（239,771千円））

②目標（指標）を達成できなかったもの

ページ	内容
12	2年生のTOEIC®全員受験の体制を整え実施し、441名が受験したが、大学全体の受験者数は695名と、目標（700名）を下回った。
13	英語英米文学科におけるTOEFL®スコアの達成率について、目標（550点以上が20％）を下回った。（2年生：0％、3年生：5％、4年生：16％）
18	科学研究費補助金について、応募率100％は達成したものの、新規採択件数は5件と、目標（10件）を下回った。 ※継続35件

2 経営状況の概要

法人においては、運営の効率化や経費節減等に不断に取り組んでおり、経営状況は安定している。また、収益の約47％を占める運営費交付金についても、有効に活用されており、全体として特に問題視すべき点は見当たらない。

◀主な増減要因▶

- ・経常費用は、光熱水費、修繕費、人件費（退職手当等）の増加等により、30億5千万円余（前年度比5.7％増）であった。
- ・経常収益は、運営費交付金収益（人件費）や共同研究費等収益（TSMC、UNEP）の増加等により、29億9千万円余（前年度比1.1％増）であった。

貸借対照表
(令和7年(2025年)3月31日)

資産の部		負債の部	
I 固定資産	13,064,701	I 固定負債	527,365
有形固定資産	13,012,507	II 流動負債	673,964
土地	9,088,942	負債合計	1,201,329
建物	1,825,260	純資産の部	
その他	2,098,305	I 資本金	12,166,185
無形固定資産	51,690	II 資本剰余金	△ 1,850,261
投資その他の資産	504	資本剰余金	778,432
		損益外減価償却累計額(△)	△ 2,636,061
II 流動資産	997,031	損益外減損損失累計額(△)	△ 288
現金及び預金	894,778	除売却差額累計額	7,656
その他の流動資産	102,253	III 利益剰余金	2,544,480
		前中期目標期間繰越積立金	2,560,332
		教育研究等環境整備目的積立金	0
		当期末処理損失	△ 15,852
		純資産合計	12,860,404
資産合計	14,061,732	負債純資産合計	14,061,733

損益計算書
(令和6年(2024年)4月1日から令和7年(2025年)3月31日まで)

経常費用	
人件費	1,686,521
教育研究費	1,054,280
受託研究費等	146,748
一般管理費	155,053
財務費用等	11,666
経常収益	2,992,029
運営費交付金収益	1,411,223
授業料等収益	1,314,973
受託研究等収益	148,892
補助金等収益	53,309
寄附金収益	19,590
その他収益	44,043
固定資産取得費用調整額	
経常損失	△ 62,239
臨時損失	0
臨時利益	0
目的積立金取崩額	46,386
当期総利益	△ 15,852

キャッシュ・フロー計算書
(令和6年(2024年)4月1日から令和7年(2025年)3月31日まで)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
業務活動による支出	△ 2,522,985
業務活動による収入	2,848,777
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 142,961
固定資産の取得による支出	△ 144,274
利息受取りによる収入	1,313
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 148,924
リース債務償還等による支出	△ 138,447
利息の支払いによる支出	△ 10,477
IV 資金増加額(I + II + III)	33,907
V 資金期首残高	860,871
VI 資金期末残高(IV + V)	894,778